# ソケット通信

Socket 通信で EasyInspector を制御する方法 (v1.6.0)

#### 2009/04

株式会社スカイロジック

## 目次

1	:	概要	<b>2</b>
	1 ·	・1 : 準備 : ファイアーウォールの解除	<b>2</b>
2	:	同じ PC 内で通信を行う	3
	2.	・1 : EasyInspector の設定	3
	2.	・2 : 制御するソフトの設定	3
3	:	別々の PC 間で通信を行う	4
	3.	- 1 : EasyInspector がインストールされたコンピュータでの確認と設定	4
		3-1-1 : IP アドレスの検出	4
		3-1-2: 検出ボタンでうまく IP アドレスが取得できない場合	4
	3.	・2 : 別 PC(EasyInspector を制御するプログラムが入っている PC)での設定	<b>5</b>

#### 1:概要

本文書は EasyInspector をソケット通信で制御する方法について説明しています。

### 1-1:準備:ファイアーウォールの解除

- Norton などのセキュリティプログラムがインストールされていて、Windows ファイア ーウォールが無効になっている場合: EasyInspector の起動時や IP アドレスの設定変 更時に警告が表示されますので「許可する」を選択してください。
- Windows ファイアーウォールが有効になっている場合:コントロールパネル→ Windows ファイアーウォール→設定の変更→例外タブ→プログラムの追加→参照→ C:¥Program Files¥SKYLOGIQ¥EasyInspector¥EasyInspector.exe を選択し、OK を クリックして閉じます。(上記設定でも接続ができない場合はコントロールパネル→ Windows ファイアーウォール→設定の変更→例外タブ→ポートの追加で 名前:Port 8000、ポート番号:8000、プロトコル:TCP として OK をクリックして 閉じてください)
   ※注意:ポート番号は必ずしも 8000 である必要はありませんが、EIMC と

※注意:ボート番号は必すしも 8000 である必要はありませんが、EIMC と EasyInspectorのポート設定等は常に一致している必要があります。

## 2:同じ PC 内で通信を行う

EasyInspector を制御する側のソフトが EasyInspector と同じパソコンにインストールされている場合の手順です。

## 2-1:EasyInspectorの設定

EasyInspector の「詳細設定」→「次回起動時から有効な設定」を選択し、「ソケット通信」 を選択します。「同じ PC のソフトから制御」を選択し、ポート番号 8000 を入力して OK をクリックします。EasyInspector を再起動してください。

設定		P Internal		
詳細設定 次回起動	時から有効な設定			
→次回ソフト起動時が →通信設定	ら有効です			
<ul> <li>なし</li> </ul>				
◎ ソケット通信	ポート 8000 同じ	PCのソフトから制御 🔹 👻		検出
⑦ テキストファイル	コマンドファイル 応答ファイル			参照 参照
RS-232C	СОМЖ-ト	9600, N, 8, 1 フロー制術	卸無し、デリミタ = {CR} +	{LF}
その他				
📃 カメラは常時不住	使用			
📃 カメラ非接続ウィ	ンドウを非表示にする			
☑ 起動時に前回の	マスターを表示する			
力メラ設定				ж

## 2-2:制御するソフトの設定

下記はソケット通信のサンプルソフトです。IP アドレスに「localhost」、ポート番号に「8000」 (EasyInspector のポート設定と同じ番号)を入力します。Send ボタンをクリックすると ボックスに入力されたコマンドが出力され、応答がその下のボックスに表示されます。

🛱 EI100 Winsock Example						
Server IP Address	localhost	Sand				
Port No.	8000					
Command	eg.:8000	Status?				
Response from EI100	e g.: Status?					

※通信コマンドリストは弊社 HP からダウンロード可能です。

## 3: 別々の PC 間で通信を行う

EasyInspector を制御する側のソフトが EasyInspector とは別のパソコンにインストール されていて、EasyInspector を LAN 経由で制御する場合です。同様に WAN 経由で遠隔地 の EasyInspector に対してもアクセスを行うことができます。WAN で通信を行う場合の設 定等については、EasyInspector マルチコントローラソフトの取扱説明書をご参照ください。

## 3-1: EasyInspector がインストールされたコンピュータでの確認と設定

## 3-1-1:IP アドレスの検出

EasyInspector の「詳細設定」→「次回起動時から有効な設定」を選択し、「ソケット通信」 を選択します。「他の PC のソフトから制御」を選択し、例としてポート番号 8000 を入力 します。また「検出」ボタンをクリックしてこの PC の IP アドレスを取得します。

OK をクリックして EasyInspector を再起動してください。

設定	時から有効な設定			-	112 44 1
次回ソフト起動時か 通信設定	ら有効です				
◎ なし					
◎ ソケット通信	ポート 8000	他のPCのソフトか	ら制御 🔻	192.168.11.4	検出
	コマンドファイル 応答ファイル				参照 参照
RS-232C	сомж−⊦	9600	), N, 8, 1 フロー制	御無し、デリミタ = {	CR} + {LF}
その他					
📃 カメラは常時不住	吏用				
📃 カメラ非接続ウィ	ンドウを非表示に	する			
☑ 起動時に前回の	)マスターを表示す?	5			
カメラ設定					ОК

## 3-1-2:検出ボタンでうまく IP アドレスが取得できない場合

EasyInspector がインストールされた PC で スタート→アクセサリ→コマンドプロンプト で ipconfig と打ち込み、Enter を押します。EasyInspector がインストールされたコンピュ ータの現在の IP アドレスが表示されます (IPv4 アドレス 192.168.11.4 など)。DHCP 設 定になっているパソコンでは、ネットへの接続を行うたびに IP アドレスが変更される可能 性がありますので、この場合はパソコンの起動時や LAN ケーブルの抜き差しの都度この作 業を行う必要があります (多くのパソコンは DHCP 設定になっています。DHCP 設定を解 除するにはネットワーク管理者に問い合わせてください)。この IP アドレスを上記 EasyInspector の IP アドレス設定ボックスに入力してください。

※DHCPとは:インターネットに一時的に接続するコンピュータに、IPアドレスなど必要

な情報を自動的に割り当てるプロトコルです。

#### 3-2:別PC(EasyInspectorを制御するプログラムが入っているPC)での設定

クライアントプログラム(EasyInspectorを制御する側のプログラム)の接続設定を、

「EasyInspector がインストールされたコンピュータでの確認と設定」で確認・設定した IP アドレスとポート番号に合わせて設定します。

下記はサンプルプログラムの設定方法です。Send ボタンをクリックするとボックスに入力 されたコマンドが出力され、応答がその下のボックスに表示されます。

E. EI100 Winsock E	xample		[]
			 192.168.11.4 に変更
Server IP Address	localhost e.s.: 192.168.1.0 or localhost	Send	EasyInspector で設定]
Port No.	8000	Cond	
Command	eg.:8000	Status?	たホート番号と同じ番号
	e.g.:Status?		
Response from EI100			

※通信コマンドリストは弊社 HP からダウンロード可能です。